|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学校経営推進費　事業計画書** | | | |
| **１．事業計画の概要** | | | |
| **学校名** | | | 大阪府立平野支援学校 |
| **取り組む課題** | | | Ｄ 生徒の自立を支える教育の充実 |
| **評価指標** | | | ・学校教育自己診断における学校満足度の向上  ・地域連携と外部への情報の発信 |
| **計画名** | | | 質の高い教育をみんなに ～　音楽で育むライフキャリア　～ |
| **２．事業計画の具体的内容** | | | |
| **学校経営計画の**  **中期的目標** | | | １ 質の高い教育の提供  ⑴ キャリア教育の構築と推進  児童・生徒の持続可能なライフスタイルの創造をめざした「ライフキャリア」を重点とする教育の研究・実践を進め「ひらのスタンダード」を作る  ア キャリア教育の観点による授業実践  イ 将来を見据えた自立活動の指導  ⑵ 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進  ア　センター的機能の発揮 |
| **事業目標** | | | * 重度重複障がい児のキャリア教育（ライフキャリアの育成）として「音楽療法」を導入した指導法の確立 * 音楽療法を導入した指導による「特色ある地域支援」を確立し、地域支援の充実と拡大を図る |
| **取組みの概要** | **整備する**  **設備**  **・物品** | | レストハウス（本校運動場に既存の施設）をセラピールームに整備  エアコンの付け替え、音楽療法に必要な楽器等の導入等 |
| **取組内容** | **前年度** | * 音楽療法士資格所有の教諭（１名）による校内での授業実践 * 令和元年度、同教諭が音楽療法による地域支援（小学校）を実践。同教諭のアプローチによる児童の表出等に大きな変化があり、同小学校から継続的な支援の申し入れがあったが、コロナ禍により中断。令和４年度は継続支援を復活する方向で進めている。 |
| **初年度** | * 音楽療法とキャリア教育の指標を融合した評価表の作成 * 高等部の授業において通年実施、共同研究者（大学教授）の指導助言による評価と検証、研究推進 * 校内での音楽療法セミナーの開催　・地域支援での本格実施 * 本校ホームページの地域支援のページに音楽療法に関する項目を立てて広報、適時更新（～３年め） |
| **２年め** | * 高等部の授業において通年実施、共同研究者（大学教授）の指導助言による評価と検証、研究推進 * 普遍的な指導法（資格を有さずともできる指導法）の確立、および他学部や他校等への普及を図る * 音楽療法による指導法セミナーを校内および地域の学校の教員向けに開催 * 地域支援での実施の拡大 |
| **３年め** | * 高等部の授業において通年実施、共同研究者（大学教授）の指導助言による評価と検証、研究推進 * 初年度からの取り組みと成果等をまとめ、研究会（近畿地区肢体不自由教育研究会 等）で発表 * 音楽療法による指導法セミナーを校内および地域の学校の教員向けに開催 * 地域支援での実施のさらなる拡大と充実 |
| **取組みの**  **主担**  **・実施者** | | 音楽療法士資格所有教諭、およびティームティーチングで取り組む教員複数名  キャリア教育プロジェクトチーム、研究・支援部、共同研究者（音楽療法士資格所有の大学教授） |
| **成果の検証方法**  **と評価指標** | | **初年度** | * 保護者向け学校教育自己診断「学校はホームページ等を活用して積極的に情報を発信」の肯定的回答率を85％（令和３年度83％）「教職員は子供の障がいを正しく理解して指導」を93％（令和３年度91％）にする。 * 音楽療法による地域支援の実施校数を２校以上にする。 |
| **２年め** | * 保護者向け学校教育自己診断「学校はホームページ等を活用して積極的に情報を発信」の肯定的回答率88％「教職員は子供の障がいを正しく理解して指導」を95％にする。 * 音楽療法による地域支援の継続実施、および新規実施校を昨年度より１校以上増。 |
| **３年め** | * 保護者向け学校教育自己診断「学校はホームページ等を活用して積極的に情報を発信」の肯定的回答率90％「教職員は子供の障がいを正しく理解して指導」を97％にする。 * 音楽療法による地域支援の継続実施、および新規実施校を昨年度より１校以上増。 |